

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)野間特別養護老人ホーム	階数	地上5F
建設地	福岡県福岡市南区野間3丁目160番	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、法22条区域	平均居住人員	49 人
地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	学校、病院、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 0.0	評価の実施日	2017年6月17日
敷地面積	1,216 m ²	作成者	山下優季
建築面積	793 m ²	確認日	
延床面積	2,788 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>0 46 92 138 184 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境 4</p> <p>Q3 室外環境(敷地内) 3</p> <p>LR1 エネルギー 2</p> <p>LR2 資源・マテリアル 1</p> <p>LR3 敷地外環境 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>採光、換気等に配慮し、施設利用者や職員の過ごしやすい環境とした。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>良好な住環境を得ることができるように、採光、換気、遮音に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>居室の広さ、天井高を充分とった。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>中庭にシンボルツリーを配置し、道路に面してできるだけ多くの植栽を配置した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外壁、屋根に断熱材を計画し、省エネルギー化を図った。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型便器を採用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地に来客用駐車場、施設サービス用駐車場の台数を充分確保し、路上駐車のないようにした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される